

総務常任委員会

(6月13日開催)

議案第2号、議案第3号、

議案第5号、

議案第8号の一部

(原案可決)

委員会質疑要約

議案第8号について

(歳入)

Q 合併特例債の借入残高はどれくらいか。また、合併特例債を予定している事業の計画はあるか。

A 平成25年度決算見込みで、55億6千200万円ほどです。

また、新市建設計画に載っている事業は合併特例債を充てる事業です。
議案第8号について

(歳出)

Q 東京オリンピック・パラリンピックに関係する事業として、事前キャンプの招致活動をするということだが、具体的にはどういうことに予算を使っていくのか。

A 海外招致要望活動や、国内の視察等の旅費、また、パンフレット等の郵送料やパンフレット等に外国語表記が必

要となる場合の翻訳料等です。

Q 成東駅前駐輪場の利用状況はどうか。また、今後の管理は今まで同様、委託するのか。

A 現在、400台ほどの有料及び無料駐輪場は、全てが満車という状態です。また、現在指定管理者制度をとっておりですが、今後も継続していく予定です。

Q 現在の駐輪場の収入はどれくらいか。

A 年間で約260万円程度です。

Q 防火水槽の全体数はどれくらいか。

A 平成25年4月1日現在で、消火栓数が899施設、大型の防火水槽が373基、比較的小型の防火水槽が488基あります。また、水利に使う貯水池が11カ所、河川が12カ所、小中学校のプールも消火の時に使

用しますが、18カ所です。
Q 地方債の年度末残高は202億9千800万円のうち、交付税措置される金額はどれくらいか。

A おおよそ150億円程度だと考えてい

ます。

Q 介護基盤緊急整備等事業で、スプリンクラー設備を設置する高齢者施設について、対象施設は全て調査が終了しているのか。

A 市内の対象施設6カ所のうち、3カ所は整備済みです。残り3カ所のうち、今回2カ所を整備し、もう1カ所は

整備済みです。

Q その遊具整備は、当初予算とするべきものと思うが、国の決定はいつごろなのか。

A 昨年度末に国の補正予算事業として始まり、繰り越されて、今年度に入ってから決定になりました。

Q おおひらこども園の園庭に散乱している砂利・貝殻・ガラス片等について、飛ばない砂を敷きならすだけで、十分な安全対策になるのか。

A 業者と相談した結果、飛ばない砂を10センチほど入れると安定すると判断していますが、執行の際は、改めて協議して進めたいと思います。



総務常任委員会の様子

文教厚生常任委員会

(6月13日開催)

議案第4号、議案第8号の一部、請願第1号、請願第2号、請願第3号

(原案可決)

委員会質疑要約

議案第8号について

(歳出)

Q 市内の対象施設6カ所のうち、3カ所は整備済みです。残り3カ所のうち、今回2カ所を整備し、もう1カ所は

整備済みです。

Q その遊具整備は、当初予算とするべきものと思うが、国の決定はいつごろなのか。

A 昨年度末に国の補正予算事業として始まり、繰り越されて、今年度に入ってから決定になりました。

Q おおひらこども園の園庭に散乱している砂利・貝殻・ガラス片等について、飛ばない砂を敷きならすだけで、十分な安全対策になるのか。

A 業者と相談した結果、飛ばない砂を10センチほど入れると安定すると判断していますが、執行の際は、改めて協議して進めたいと思います。

事業者から今回は間に合わないという申し入れがありました。

Q こども園遊具他施設整備事業の内容はどうか。

A 国の経済対策として交付される『がんばる地域交付金』を活用し、各こども園で老朽化している遊具の交換や、不足している遊具を設置します。

Q その遊具整備は、当初予算とするべきものと思うが、国の決定はいつごろなのか。

A 昨年度末に国の補正予算事業として始まり、繰り越されて、今年度に入ってから決定になりました。

Q おおひらこども園の園庭に散乱している砂利・貝殻・ガラス片等について、飛ばない砂を敷きならすだけで、十分な安全対策になるのか。

A 業者と相談した結果、飛ばない砂を10センチほど入れると安定すると判断していますが、執行の際は、改めて協議して進めたいと思います。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 汚水適正処理構想について、小規模下水道でもやるのか、もしくは全くやらないのか、市はどういう方向性で進むのか。

A 10年後という目途があるのか、やるかやらないかも含め、どこまでできるかを今回調査

します。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。

Q 国から、汚水処理について10年後を目途にハード面の整備を概ね完成させるといふ方針が示されたことにより、早急に計画を策定するための調査費を計上しているが、国や県からの支出金が少ないのではないか。

A 現在は構想を見直している状況であり、一般財源により実施します。整備にあたっての費用であれば、交付金等でまかなえることになろうかと思われま

す。

Q 県内のPED(豚流行性下痢)の感染状況が終息しなかった場合は、次回定例会においても、補正予算を考えるのか。

A 終息しなかった場合は、さらなる補正予算を考えます。